

板橋東町会

当町会は、昭和26年10月「板橋東睦会」の名称で設立され、昭和40年「板橋東町会」と改称し同43年町会会館が完成、以来役員会員を問わず地域の繁栄と活性化に貢献し目覚ましい躍進を続け今日に至りました。板橋区の東端で、埼京線「板橋駅」、都営三田線「新板橋駅」を包括する板橋区の玄関部に位置しています。昭和56年8月町会の30周年記念事業として大神輿を完成し、町内の隅々まで巡行しました。同62年5月に石神井川にあずま橋が完成、平成2年11月「板橋東いこいの森公園」が開園、平成5年「あずま橋ひろば」平成25年「板橋一丁目電車の見える公園」が出来、防災訓練、親子納涼大会、夏休みラジオ体操など町会の様々な行事に大変役に立っています。街の概観もほとんど近代化し、ビル・マンション建築が目立ち、JR板橋駅の近くに高層マンション、32階建ての区内一高いビュータワーも建築されました。

毎年人口が増加し現在町会世帯数が4000という区内有数の大町会になりました。今後は町会会館が町会の所有の為、町会の法人化及び改築等が検討課題となり、町会の更なる発展に努力していきたいと思っております。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



町会会館に於いて役員一同